

新日美・第42回展実施方針

2018.3. 9

事業部会

41 回展以降これまでに検討されてきた問題、要改善点を受けて 42 回展実施の方針を検討した。

1. 委員、支部会員の業務分担、協力により後継者の育成に務め、展覧会の活性化を計りたい。具体的な人選については分担表検討のなかできめていく。
 - 1) 委員各位には積極的に、主要業務を担当し、出勤率の平準化を図りたい。
 - 2) 近在の支部会員による応援ではご苦勞を願っているが委員出勤率との兼ね合いで 42 回展においてもお願いすることになる。本部、支部間の一体化を計る観点からも支部の応援は必要である。
 - 3) 展示フロアにおける委員の出展者、来場者への講評・対話等の声かけは積極的にお願いしたい。
2. 各展示室のコンセプトをより明確にし、室間の較差、マンネリ化を排する。
 - 1) 6 室レベルアップのため、1 室常連の作品はその一部を 6 室に回ってもらい、双方の雰囲気に変化をつけたい。
 - 2) 5 室、抽象作品室は準会員、会友作品からも選び、より際立たせたい。
3. 新設の「小品の部門」をいかに盛り上げるか、検討を要する。
 - 1) 作品は 10 号～25 号とし、会員、一般応募者とする。
 - 2) 応募点数は 50 点程度と予想されるが、通常通り 2 段掛けにすると、今、想定している展示室 8 室（9 室を一般大型作品 30 号以上とする）は相当狭く、6.2m×7.5m 程度となる。
一般作品大、小の数により 1 段掛けか 2 段掛けかきめる。
4. 例年 8, 9 室の展示が遅れるがマンパワーの増強、東美の配送を早める等検討する。

以上